

令和 3 年 5 月 10 日

令和 2 年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立三笠小学校（外 11 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立三笠小学校	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/

2. 特別の教育課程の内容

（1）特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第 1 学年及び第 2 学年の生活科 20 時間を外国語活動に替えて実施する。

（2）学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002 年には FIFA ワールドカップの会場地となり、今年度には東京オリンピックサッカー競技の開催が予定されている。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要なであると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

（3）特例の適用開始日

2007 年 4 月

2018 年 4 月 変更

（4）取組の期間

2030 年 4 月まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ⊙計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ⊙実施している
- ・実施していない

(4) 第1学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。

楽しい	57.2%	どちらかという楽しい	23.8%
どちらかという楽しくない	11.9%	楽しくない	7.1%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか？

楽しい	59.6%	どちらかという楽しい	21.4%
どちらかという楽しくない	11.9%	楽しくない	7.1%

③ 英語を話せるようになりたいですか。

なりたい	85.7%	どちらかというなりたい	14.3%
どちらかというとならなくてもよい	0%	なりたくない	0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。

知りたい	69.1%	どちらかという知りたい	19.0%
あまり知りたくない	11.9%	知りたくない	0%

(5) 第2学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。

楽しい	49.2%	どちらかという楽しい	42.4%
どちらかという楽しくない	8.4%	楽しくない	0%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか？

楽しい	54.2%	どちらかという楽しい	44.1%
どちらかという楽しくない	1.7%	楽しくない	0%

③ 英語を話せるようになりたいですか。

なりたい	72.9%	どちらかというなりたい	25.4%
どちらかというとならなくてもよい	1.7%	なりたくない	0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。

知りたい	74.6%	どちらかという知りたい	18.6%
あまり知りたくない	6.8%	知りたくない	0%

(6) 教職員による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	61.1%	どちらかという思う	38.9%
どちらかというと思わない	0%	思わない	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。

思う	72.2%	どちらかという思う	27.8%
どちらかというと思わない	0%	思わない	0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。

思う	72.2%	どちらかという思う	16.7%
どちらかというと思わない	11.1%	思わない	0%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。

(自由記述)

- ・外国語を通して、コミュニケーションを取れることの楽しさを感じて取り組んでいきたい。
- ・ネイティブの発音を聞くことにより、耳が慣れていき、リスニング力の向上を行っていきたい。
- ・挨拶などの簡単な英会話に慣れていきながら、外国語に対する抵抗を少なくし、外国語に対する意欲を高め、外国文化への関心の向上を行っていきたい。

(7) 保護者による評価

- ① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	54.5%	どちらかというと思う	35.0%
どちらかというと思わない	8.1%	思わない	2.4%

- ② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。

思う	69.1%	どちらかというと思う	29.3%
どちらかというと思わない	0.8%	思わない	0.8%

- ③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活、習慣、行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。

思う	43.9%	どちらかというと思う	43.1%
どちらかというと思わない	10.6%	思わない	2.4%

- ④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。

(自由記述)

- ・ネイティブのALTの話す英語をたくさん聞きながら、外国語に対して、興味をもち、外国語を理解する耳を育み、綺麗な発音で単語を言えるようになってほしい。
- ・外国語を通して、コミュニケーション能力の向上を行い、発音の基礎をしっかりと学び、英語を好きになるきっかけを作してほしい。
- ・教科書で学ぶ表現以外にも日常的な会話を学び、異文化に対する興味・関心を向上してほしい。

4. 実施の効果及び課題

- (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校においては、低学年から外国語活動を行うことにより、ALTと積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育まれてきている。外国の文化や言語に親しむことで、グローバルな社会で自分の意見を発信する力の素地ができ、そのことが本校の教育の目標である「夢や希望をはぐくみ 個性を生かして学ぶ児童の育成」に繋がっていると考えます。

課題としては、間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を育成することと考える。外国語を使って自分の伝えたいことを表すことは大事である。そのためには、挨拶や天気・色など児童が身近に見ている・知っている表現から学んでいくことが大事だと考える。

友達や先生たちと外国語を使って、やりとりする場面では、ジェスチャーや相づちなどを使いながら会話をし、外国語を使うことの楽しさや面白さの成功体験を通して、児童が感じられるように工夫をしていくことが大事だと考える。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校においては、第1学年から外国語活動を実施してきた。第5・6学年の児童の授業の様子では、ALTとの発音練習の時にはしっかり反復練習を行い、低学年の時から英語に慣れ親しんできたことによって、簡単な英文を聞き取り理解する能力が身に付いている様子が見られる。

一方で、スピーキングにおいては、自発的なコミュニケーションが不十分と感じる。英単語や語彙が不足していることから自分が表現したい内容を上手に表現できていない時がある。加えて、学年が上がるにつれて、間違えることへの恐れやできないことへの不安を感じている様に思う。

「Small Talk」を行うときには、ALTとHRTがジェスチャーやアイコンタクトを意識して例示し、児童に完璧な英語でなくても自分の思いや考えを伝えることができるということを児童に伝えながら、「話すこと〔やり取り〕」の領域の言語活動として身近な題材について対話していきたい。

5. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、「Small Talk」などの言語活動の時を中心とした指導の改善と工夫が求められる。そのためには、「Small Talk」の際には、身近な題材に触れて表現の仕方を学んでいく。加えて、「Small Talk」を児童ができるようにするために、教職員も積極的に児童と対話することを通して、児童のできている所や困っている所を把握して一緒に能力の向上を目指していくことが大切だと考える。